

emacs 上で Java 開発をするとき便利
特に、パッケージ管理で階層が深い時なんかには便利

prj.el

プロジェクト用の設定ファイル

読み込んだ java ソースファイルのあるディレクトリからみつかるまで
親をたどってさがしてくれる。

プロジェクトのトップなんかにおいとくと便利。

わたしは、周囲の人との関係で、make を使うので

```
all:
    javac `find . -name ?*.java -print`
```

たとえば、これくらいの単純な Makefile とともに、

```
(jde-project-file-version "1.0")
(jde-set-variables)
(custom-set-variables
 '(jde-global-classpath
  (quote ("/home/miyo/$PROJECT/")) t)
 '(jde-make-args "")
 '(jde-make-working-directory "/home/miyo/$PROJECT/"))
```

みたいな prj.el を用意。

これで、パッケージ階層および make 時の指定。

今までは ?M-x compile で

```
cd /home/miyo/$PROJECT; make
```

みたいにやっていたのだが、JDEE でやる方が便利

ちなみに、ディレクトリの指定で、最後の / が重要。

ショートカット

コマンド	機能
C-c C-v j	Javadoc コメントの挿入
C-c C-v .	メソッドの補間
C-c C-v C-.	メソッドの補間 (メニューから選択)
C-c C-v C-w	クラスの JDK ドキュメントを表示
C-c C-v C-n	JDK ドキュメントのトップページを表示
C-c C-v C-c	コンパイル
C-x '	コンパイルエラーが出たソースの場所へ移動
C-c C-v C-b	ビルド (デフォルトでは make)

C-c C-c	コンパイルエラーが出たソースの場所へ移動
C-c C-v C-a	アプレットの実行 (アプレットを実行する html ファイルが必要)
C-c C-v C-n	JDK のドキュメントを表示
C-c C-v C-s	Speedbar の表示 (クラスツリーの表示)
C-c .	編集スタイルの切り替え